

視察した学校についての紹介

視察した
学校名

広島大学附属三原幼・小・中学校【広島県】

研究主題

高度に競争的でグローバル化された多様性社会に適応するために求められる3つの次元（**躍動する感性・レジリエンス・横断的な知識**）の基礎となる資質・能力を育成する幼少中一貫教育カリキュラムの研究開発

学校の
特色

社会科の研究

第3学年「感性を躍動させながら、自分ごとの判断・選択をする社会科の実践」

第6学年「知識と知識を関連付けながら追究する力を意識した社会科の実践」

第8学年「国際的視野を広げるために知識と知識を関連付けながら追究する力を育む社会科の実践」

【取組①】児童会選挙を通して、政治や選挙への関わり方を学ぶ

- ・児童会選挙と国政選挙の共通点を考えることを通して、自身の投票行動に繋げようとする試み

<成果>

- ・自分たちの学校の選挙の意義や役割について考える機会となり、政治や選挙に関わろうとする姿勢が自分を取り巻く生活の安定と向上につながっていることを理解することができる。

【取組②】人権・裁判・経済を複合させた授業

- ・通常なら「人権」→「国会・内閣」と進むが、「人権」考えた判例から「裁判」につなげ、次の「経済」で学ぶ「消費者の権利」の視点も必要な民事裁判の一例について判決を出す。

<成果>

- ・人権や裁判、経済という公民で学ぶ様々な事象のつながり気づき、かつより良い社会のために必要なことの共通点を考えることできる。（「1人ひとりの人権を守ることが大切」など）